



関 中 学 校 だ よ り

第 4 号 平成 27 年 9 月 28 日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

実りの秋・芸術の秋・読書の秋・・・

校長 勝亦章行

今年の夏休みは、前半は厳しい暑さあり、後半は天候不順の日が多かったと思います。9月に入っても日照時間が少なく、シルバーウィークは何とか天気もよかったのが幸いでした。「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」と気象庁が名付けた豪雨があり、第一級河川である鬼怒川をはじめ 72 の河川で氾濫が発生し、浸水などの被害が起きたほか、各地で土砂災害も相次ぎ、浸水した住宅は全国でおよそ 19,000 棟に上るといわれています。

濁流がもうすぐ収穫であった稲穂や人々の家を飲み込み、甚大な被害をおこしたことは、自然の怖さを改めて思い知らされた思いです。しかし、このシルバーウィークを使って全国からボランティアの方々に応援に駆けつけたと聞いています。頭が下がる思いです。被災された方々に対し、心中よりお見舞い申し上げます。

さて、朝夕の虫の音は、秋の訪れを私たちに感じさせます。関中学校の校庭にもトンボが飛んでいました。季節は、本格的な秋へと確実に進んでいます。

「実りの秋」という言葉があります。秋には穀物や果物などの農作物の収穫があるからの言葉です。農作物が育つためには、夏の時季にしっかりと太陽の光を葉っぱいっぱい吸収し、水分や栄養分を根から力強く吸い上げ成長しなければなりません。

このことは、農作物だけでなく、人間も同じです。45 日間の夏休みは、学習、読書、部活動、趣味や特技、家族との団欒や旅行などさまざまなことがあったと思います。夏休み中の体験や経験を通して学んだこと、得たこと、身に付けた力を、発揮してほしいと思います。

12 月の冬休みまでは、以下のように大きな行事もたくさんあります。

9 月 29 日 (火)	連合陸上競技会 (都立駒沢陸上競技場)
10 月 8 日 (木)	連合音楽会 (練馬区立練馬文化センター)
10 月 21 日 (水)	合唱コンクール (練馬区立練馬文化センター)
11 月 20 日 (金)	マラソン大会 (所沢航空記念公園)
11 月 28 日 (土)	中 P 連主催駅伝大会 (都立光が丘公園)

秋は、「実りの秋」だけでなく、「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と様々な言葉あります。何をやるにしても良い季節です。自分自身にとって「価値ある実りの秋」にしてほしいです。

★成績相談 (10月10日、10月13日) を活用して下さい。

練馬区は、今年度までは 2 学期制です。来年度から 3 学期制になります。今年度の 1 学期終業式は、10 月 10 日 (土) です。通知表が各生徒に配付されます。

各教科では、まず観点別学習状況評価 (A・B・C) を 4 観点 (国語は 5 観点) で付け、それを総括した評定 (5・4・3・2・1) を付けます。

観点別学習状況評価	→	評定
AAAA (国語 AAAAA)	→	4 または 5
BBBB (国語 BBBB)	→	3
CCCC (国語 CCCC)	→	1 または 2

関中学校では、1 学期終業式 (10 日) と 2 学期始業式 (13 日) に、各教科の先生に質問できる成績相談の時間を設けています。

「どのようにすれば成績が向上するのか?」「どのように頑張ればいいのか?」「なぜ、この評価評定なのか?」などを質問することができます。

まず自分の成績を直視し、自分なりに反省し、よかった面はさらに伸ばす。しっかりと省みて、次の自分の学習の改善につなげることが大切です。成績相談を活用して下さい。

9 月 1 0 月 行事予定

	曜	予定
1	火	夏休み明け全校集会、防災訓練 (一斉下校訓練)
4	金	第 1 回新入生保護者説明会
12	土	第二土曜授業 期末考査 (1 2 年 技術家庭)
13	日	練馬区防災訓練
14	月	期末考査 (数学・ 社会・英語)
15	火	期末考査 (理科・ 国語・保健体育)
16	水	SC 来校
18	金	心の相談員来校
21	月	敬老の日 (祭日)
22	火	国民の休日 (祭日)
23	水	秋分の日 (祭日)
24	木	衣替え移行期間 (始) PTA 運営委員会
25	金	3 年経済教室 心の相談員来校
28	月	生徒会朝礼 SC 来校、3 年部 活動写真撮影
29	火	連合陸上大会 (駒 沢)、3 年部活動写 真撮影
30	水	職員会議
1 0 月		
1	木	都民の日、学校公 開週間 (始)、生徒 会役員立会演説会
2	金	生徒会役員選挙投 票、心の相談員来 校、3 年学級学年 写真撮影
5	月	3 年進路保護者会
6	火	合唱コンクール実 行委員会
7	水	学校公開週間 (終) 前期最後生徒会委 員会・中央委員会
8	木	連合音楽会
9	金	英語検定、心の相 談員来校
10	土	第二土曜授業 1 学期終業式 成績相談日
13	火	2 学期始業式 成績相談日
15	木	2 年秋季歯科検診
21	水	合唱コンクール
31	金	開校 4 0 周年記念 式典・祝賀会

★ 1 年下田臨海学校 （7月21日～24日）



下田の外浦海岸（白い砂、綺麗な海、沖には筆島が見えます）

1 年下田臨海学校が、7月21日（火）～24日（火）三泊四日、男子47人、女子42人、計89人が参加して行われました。関中学校は、臨海学校第1期として貫井中学校と一緒に、下田市にある外浦海岸で臨海学校を行いました。練馬区の臨海学校は、遠泳をすることが大きな特徴です。

臨海学校3日目は、朝からどんよりした天候で、時々小雨の降る中、観光ブイの外回りコースを82名の生徒が完泳を目指しました。浜からは貫井中の生徒が大きな声で応援してくれて、とても心強く感じられました。先生方やオーシャンセーフティのサポートにより、全員が完泳することができ、また、浜で待機していた7名も観光ブイ内回りコースを泳ぎ切り、これまでの練習の成果を十分に発揮しました。遠泳が終わった頃には、気温も下がって肌寒くなり、Tシャツを着て全体の集合写真を撮影しました。全ての水泳実習が終わった午後には、スイカ割りを楽しみました。途中で雨が強く振り出し、雨の中でスイカを食べました。



ベルデ下田に到着し、開校式



中庭で準備体操



練馬区臨海学校のよしず前に集合



いよいよ水泳班ごとに海へ



安全監視員（和船・カヤック）に見守られながら泳ぎます。



水泳班ごと2人バディを組んで、待機



練馬区伝統の遠泳（遠泳は、3人バディで泳ぎます）



スイカ割りもやりました。（いただきます！）



全員で記念写真（少し寒かったのでTシャツ姿）



朝食の様子（バイキング形式）



夕食の様子（カレーライス）



盛り上がったレクリエーション

★体験に勝る学習はない！ オーストラリア海外派遣（7月25日～8月1日）

練馬区では国際理解教育の一環として「中学校生徒海外派遣事業」を行っています。

今年度で、27回目となり、派遣先は昨年度と同じオーストラリアのクイーンズランド州のイプスウィッチ市でした。各中学校から男女各1が各校長から推薦され集まった派遣候補生は、6回の事前研修終了後に正式な派遣生になり、オーストラリアに出発しました。ホームステイし、バディとともに学校に通いました。ホストファミリーとともに現地での貴重な生活体験を中心に行われました。

目的：国際理解教育を具体的に推進するために、英語学習の発展として中学生を海外に派遣し、相互交流を通して異なる文化や生活習慣を直接体験し、友好親善を深めるとともに、将来にわたって国際社会に貢献できる中学生を育成する。

期間：平成27年7月25日（土）～8月1日（土）8日間

派遣国：オーストラリア（クイーンズランド州のイプスウィッチ市）

派遣生：男子33人、女子34人、計67人（残念ながら男子1人は体調不調で不参加でした）



成田から8時間半のフライト
無事、ゴールドコースト空港に到着



イプスウィッチ市風景
練馬区とは友好都市の関係です。



お世話になった学校でラストセレモニー
パندانバ・ステイト・セカンダリー・カレッジ校



さよならパーティでの空手の演技
剣道も紹介しました。



派遣生全員で踊った「南中ソーラン」
(さよならパーティ)



ワークショップ・将棋
(さよならパーティ)



ワークショップ・書道
(さよならパーティ)



ワークショップ・そろばん
(さよならパーティ)



ホストファミリーとの別れ
イプスウィッチ市の練馬ガーデン前



カランピン海岸で記念写真撮影



カランピン野生動物保護区のコアラ
(木の上で寝てました)



ゴールドコースト空港から日本へ

★平成27年度 全国学力調査（3年生対象 4月21日実施）結果より

◆4月21日に実施された全国学力調査結果が、文部科学省より8月下旬に発表されました。

- 対象 中学校3年生
- 調査内容 国語、数学について「主に知識に関する問題（A）」と「主に活用に関する問題（B）」
理科、学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する質問紙調査
- 中学校の調査結果（平均正答率% ← 生徒の正答数の平均を百分率で示したもの）

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科 [%]
関中学校	78.7	63.6	64.8	43.3	49.3

○学習状況調査（質問紙調査）から分かったこと。

- ・携帯電話、スマートホンを持っている3年生は、82%（昨年度77%）
- ・携帯電話、スマートホンの使用時間と学力テストの平均正答率は、明らかな相関関係がある。使用時間が増えるほど、学力テストの平均正答率は低くなる。
- ・読書が好きと肯定的に答えた3年生は、79.6%。昨年度より増加している。
- ・3年生の8割ほどが学習塾に通っている実態がある。

★平成27年度 練馬区学力検査（3年生対象 6月3日実施）結果より

◆6月3日に実施された練馬区学力調査結果です。

- 対象 中学校3年生
- 調査内容 社会、英語（全国学力調査で実施した国語・数学・理科は、今年度は実施しない）
- 中学校の調査結果（平均正答率% ← 生徒の正答数の平均を百分率で示したもの）

	社会	英語 [%]
関中学校	49.9	68.4

◎今回の学力調査だけから見た3年生の傾向として、英語・国語・数学は、全国より数値的には高い。社会・理科については、全国平均正答率に届いていません。

★平成27年度 東京都学力調査（2年生対象 7月2日実施）結果より

◆平成27年7月2日に実施された、東京都教育委員会は「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果です。

- 対象 都内の小学校5年生・中学校2年生
- 調査内容 学力定着状況調査（国語、社会、数学、理科、英語科）
学習についての意識や生活状況調査（生徒質問紙による）
- 調査結果（正答率% ← 生徒の正答数の平均を百分率で示したもの）

	国語	社会	数学	理科	英語 [%]
関中学校	63.3	58.8	66.1	56.0	66.1

- 意識・生活状況調査から、注目した内容は・・・
「朝食をしっかりと食べている生徒の方が学力が高い」
「読書を1～2時間程度行っている生徒が、学力が高い」
「将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思う生徒は、学力が高い」

★「集団下校訓練」（9月1日）、「練馬区防災訓練」（9月13日）実施される。



東京都から各家庭に配布されている「東京防災」様々な防災に対する参考になることが満載。役に立つ本。学校には「防災ノート」も配布されています。

9月1日（火）は、「防災の日」。大正12年（1923年）9月1日に発生した関東大震災にちなんで制定され日です。

関中学校では、集団下校訓練を行いました。事前に11班の地区班ができており、帰路別に教師と一緒に集団下校を行いました。

また、9月13日（日）は、練馬区防災訓練が行われました。災害時、練馬区内小中学校は、避難拠点になります。避難拠点は、練馬区避難拠点要員（区職員）と学校避難拠点要員（学校教職員）と避難拠点運営連絡会（地域住民）で運営されます。今回の訓練は、区職員の避難拠点要員を中心に行われました。

訓練の内容

- ① 非常用井戸が使用可能かの確認
- ② 校内トイレを使い、プールの水や非常用井戸水を使って汚物を流す訓練
- ③ 道路にある「消火栓」にスタンドパイプを取り付け、給水・消火訓練



正門の表示



非常用の井戸（正門入り、左にあります）



飲料・消防用組み立て槽（ビニール製）



消火栓を開けているところ（関中西門近くの道）
特別な器具を使って開けます



消火栓にスタンドパイプ、ホース、スピンドルドライバー
を取り付けたところ
（スピンドルドライバーを回せば水が出ます）



消火栓に取り
付けたスタンド
パイプから水が
出ている様子



消火栓からの水を利用したの消火訓練



給水器具をつけて水を出している様子

* 関中学校は、避難拠点でも医療拠点に指定されていましたが、解除され、給水拠点だけになりました。

★「食物アレルギーに関する緊急対応研修会」を開催しました。（9月1日）



講師の白戸校医



研修会の様子



練習用のエピペン（アドレナリン自己注射薬）

アナフィラキシーショック
アレルギーの原因物質に触れる、もしくは
食べることで起こる急性のアレルギー反応。
血圧の低下や意識障害などを引き起こし、
場合によっては生命を脅かす危険な状態に
なることもある。

食物アレルギーによるアナフィラキシーショックによる事故が起きており、関中学校では、講師の白戸先生を講師に「食物アレルギー研修会（教員対象）」を、9月1日に実施しました。

白戸先生から、東京都「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を中心に説明があり、練習用のエピペンでの模擬訓練を行いました。

エピペンは、アナフィラキシーショックがあらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤（アドレナリン自己注射薬）です。エピペンを太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し続けます。あくまでも補助治療剤なので、アナフィラキシーを根本的に治療するものではありません。エピペン注射後は直ちに医師による診療を受ける必要があります。

★第45回 全国中学校体育大会・剣道大会 関中学校 男子団体 3位



剣道全国大会（秋田県立武道館）



表彰式（堂々の全国男子団体3位）

平成27年度 全国中学校体育大会・剣道大会が、8月22日（土）～24日（月）、秋田県立武道館（秋田県秋田市）で開催されました。

関中学校は、東京都代表として参加。全国優勝を期して頑張りましたが、惜しくも3位。しかし、全国男子団体3位！とても立派です！おめでとうございます！

★「いじめは、どの学校でも、どの学級でも、どの生徒にも起きる！」

国立教育政策研究所が、いじめ追跡調査を行ったことがあります。その結果は、「1回でも中学3年間で、いじめの加害者経験がある生徒」「1回でも中学3年間で、いじめの被害経験がある生徒」は、ともに調査した学校の生徒の3/4が該当するとの調査結果があります。

いじめは特定の生徒だけではなく、「どの学校でも、どの学級でも、どの生徒にも起こりうるもの」なのです。

そういった意味でも、自分に関係ないのではなく、積極的にいじめを排除する姿勢をもたなければなりません。

また、いじめにあったときには、誰かに相談することが大事です。（家族、学校の先生、外部機関など）相談することは、勇気がいるかもしれませんが、正しい行為です。いじめの解決につながります。

元東京都児童センター児童心理司 山脇由貴子先生が、東京都学校教育相談研究会の特別講演会で、「いじめ」について、次のように話されました。
（都相研第85号から一部引用させていただきます。）

いじめについて

いじめとは「心のウイルス」であり、あっという間に感染します。本人は気がつかないため周りの人間が取り除くしかありません。

いじめには集団ヒステリーが働き、悪の感覚（楽しい感覚にすらなってしまう）がなくなります。被害者以外は加害者であり、関わっていない人を巻き込むことで密告者を無くします。被害者は次第に判断力を狂わせ、いじめがバレたらもっとひどい仕打ちにあってしまうと考え、嘘で塗り固めて自己防衛しようとしてします。子どもは、大人に本音をしゃべりません。

いじめの解決は、子どもに任せてはいけません。大人が解決できるというところを見せることが重要です。

保存版

いじめのサイン

発見シート

監修 森田洋司氏 大阪市立大学名誉教授 / いじめ防止基本方針策定協議会座長

多くの子どもたちが、だれにも相談できずにいる「いじめのこと」。言葉では伝えられなくても、「いじめ」があれば毎日の生活の中に、これまでとちがった行動や態度などが現れます。「いじめのサイン発見シート」を使ってふだんの生活とのちがいを確認してください。



朝 (登校前)

※チェック欄は2回、もしくは2人で出来るように2つあります。

- 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。
- 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- 遅刻や早退がふえた。
- 食欲がなくなったり、だまって食べるようになる。



夕 (下校後)

- ケータイ電話やメールの着信音におびえる。
- 勉強しなくなる。集中力がない。
- 家からお金を持ち出したり、必要以上のお金をほしがる。
- 遊びのなかで、笑われたり、からかわれたり、命令されている。
- 親しい友達が遊びに来ない、遊びに行かない。



お子さまの
ようすは
いかがですか？



夜間 (就寝後)

- 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
- 学校で使う物や持ち物がなくなったり、こわれている。
- 教科書やノートにいやがらせのラクガキをされたり、やぶられたりしている。
- 服がよごれていたり、やぶれていたりする。



夜 (就寝前)

- 表情が暗く、家族との会話も少なくなった。
- ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
- 学校や友達の話目がへった。
- 自分の部屋に閉じこもる時間がふえた。
- パソコンやスマホをいつも気にしている。
- 理由をはっきり言わないアザやキズアトがある。

■「いじめ」をしていませんか？

いじめる側になっていると、次のようなサインが出ていることがあります。



- 言葉づかいが荒くなる。言うことをきかない。人のことをばかにする。
- 買ったおぼえない物を持っている。
- 与えたお金以上のものを持っている。おこづかいでは買えないものを持っている。

クラス替えなど環境の変化には特に注意が必要です。

4月はクラス替えで新しい友達ができるなど、子どもにとって環境が大きく変わる月です。学校生活を楽しく過ごせる友達ができるかどうか、注意して見守る必要があります。また、転校などのタイミングにも注意してください。

休み明けの変化を見逃さないようにしましょう。

夏・冬休みの終わりごろから新学期が始まる時期に、登校をいやがったり、元気がなくなったりしていないか、子どものようすの変化に注意する必要があります。日曜日から月曜日にかけても同じです。

※チェック項目は参考例です。お子さまやご家族の実態に合わせて、ご活用下さい。

「あれ？」もしかしてと思ったら…

- 子どもにとって良き相談相手になってあげましょう。気持ちを受け入れてあげることが大切です。
- ようすがおかしくても、問いつめたり、結論を急いだりしないようにしましょう。
- 何があっても「守り抜く」「必ず助ける」ことを真剣に伝えましょう。
- いじめている人が悪く、いじめられている人は悪くないと伝えましょう。
- 子どもに次のようなことは言わないようにしましょう。
「無視しなさい」「大したことはない」「あなたにも悪いところがある」「いじめられるほうが悪い」「弱いからいじめられる」

悩んでいる
子どもの気持ちに
手をさしのべて
あげてください。



ご家族だけで悩まずに、心配なことは学校へ相談しましょう。

相談窓口 24時間いじめ相談ダイヤル
24時間全国どこからでも悩みを相談することができます。

0570-0-78310 (なやみ言おう)

政府広報 | 文部科学省

政府広報オンライン特集ページ <http://www.gov-online.go.jp/tokusyu/ijime/>